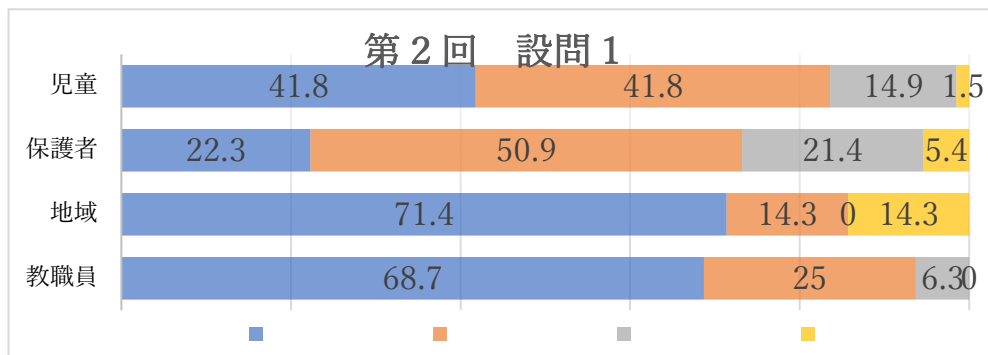
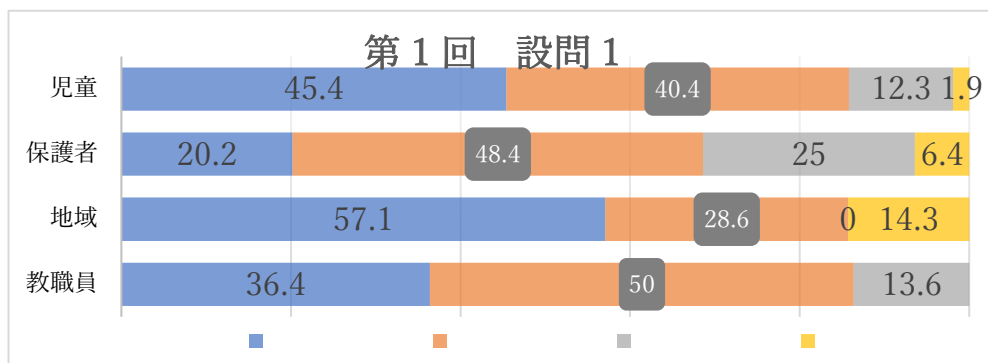


令和7年度 学校評価アンケートの結果について

1 授業改善

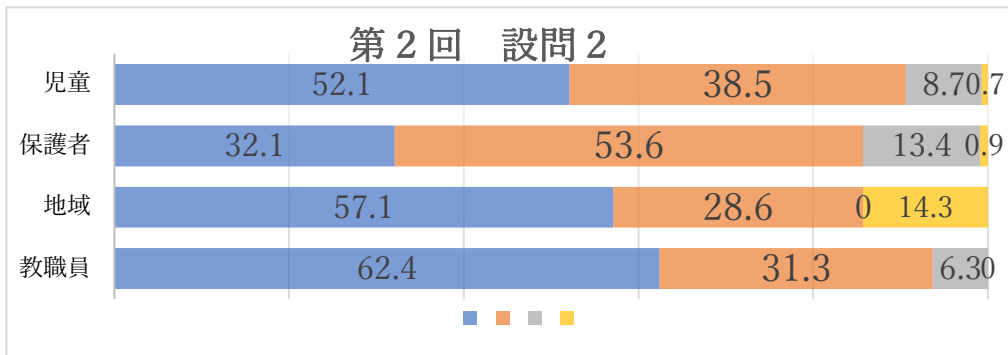
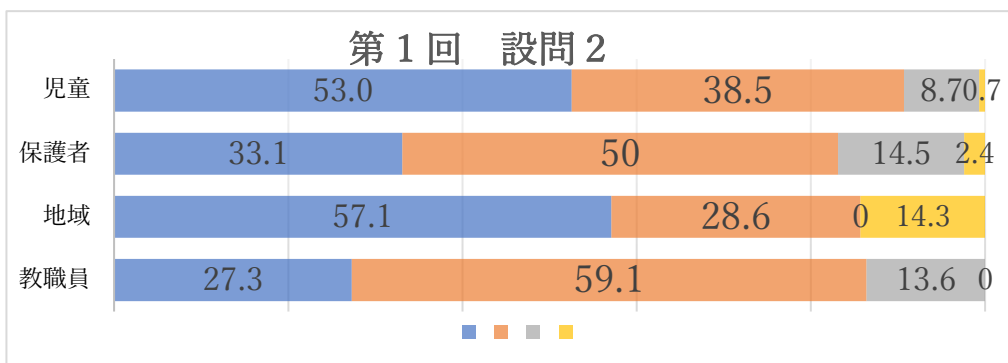
【設問 1】

児童 あなたは、授業中に自分の考えを書いたり話したりしている。
 保護者 お子さんは、授業中に自分の考えを書いたり話したりしている。
 地域 子どもは、授業中に自分の考えを書いたり話したりしている。
 教職員 あなたは、授業中、自分の考えをもち、表現できるよう工夫している。



【設問 2】

児童 あなたは、授業中に友達や先生の話をしっかり聞いている。
 保護者 お子さんは、授業中に友達や教師の話をしっかり聞いている。
 地域 子どもは、授業中に友達や教師の話をしっかり聞いている。
 教職員 あなたは、教師や友達の話聞くことを通して、児童が自分の考えを深めることができるような指導をしている。



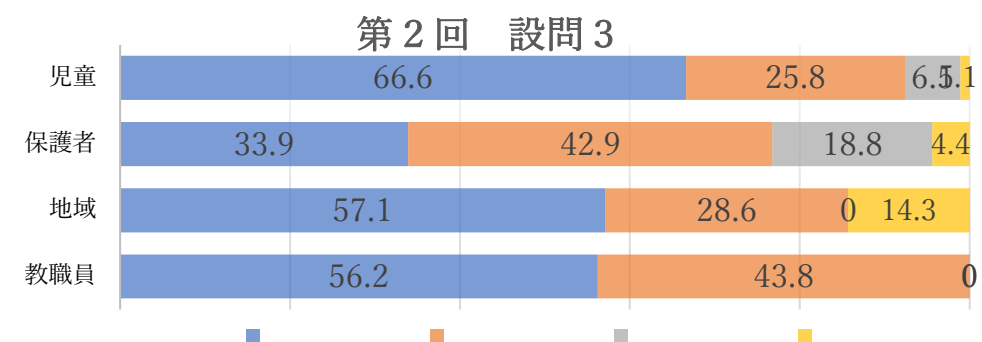
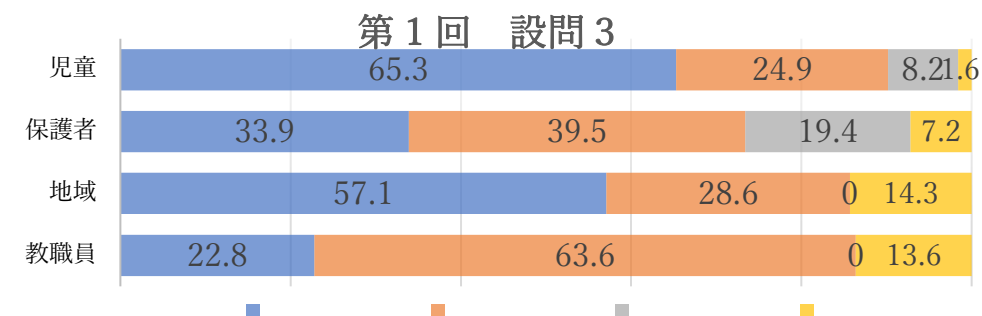
〈授業改善について〉

- ・【設問 1】では、児童・保護者の評価はほぼ変わらない。地域・教職員はかなり上昇している。しかし、否定的な評価を選択した児童や保護者・地域が一定数いるため、今後も、クラスの全員が考え、表現する場を授業の中で仕組んでいく必要がある。
- ・【設問 2】でも、児童・保護者の評価はほぼ変わらない。地域・教職員はかなり上昇している。今後は、否定的な評価が少しでも減るよう、授業の中で、「聞く」力を身につけられるよう、「すえたけスタイル」を意識しながら指導していきたい。

2 まなびプロジェクト

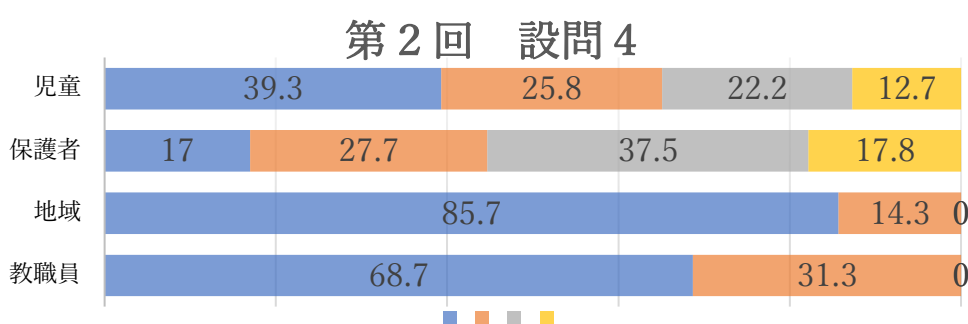
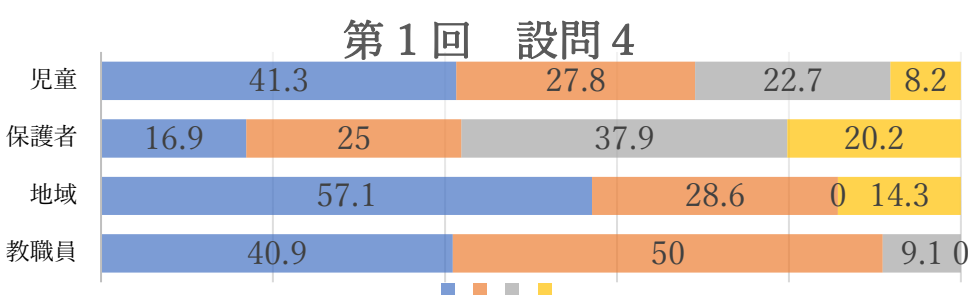
【設問 3】

児童	あなたは、毎日、宿題などに進んで取り組んでいる。
保護者	お子さんは、宿題等に進んで取り組んでいる。
地域	学校は、自ら進んで学習に取り組めるよう工夫をしている。
教職員	あなたは、児童が自ら進んで学習に取り組めるよう工夫をしている。



【設問 4】

児童	あなたは、進んで読書をしている。
保護者	お子さんは、進んで読書をしている。
地域	学校は、本好きな子どもにするための取組をしている。
教職員	学校は、本を手にする子どもを増やすための取組をしている。



〈まなびプロジェクトについて〉

- ・【設問 3】では、第 1 回目と比べると児童や保護者、教職員の結果で肯定的な評価の割合が高くなっている。引き続き、やるべき課題に自ら取り組むことができるように、指導の工夫をしていきたい。
- ・【設問 4】では、読み聞かせや「おすすめの本紹介タイム」に加えて、おすすめの本の紹介文を掲示することで、本好きな子どもにするための取組につながっていると考えられる。しかし、児童の意識としては、第 1 回目と比較すると肯定的な評価の割合が下がってきている。今後、児童が進んで本を手にとることのできる環境作りを工夫していきたい。学級文庫の本の種類を子どもの興味にあったものとなるようにしていきたい。

3 こころプロジェクト

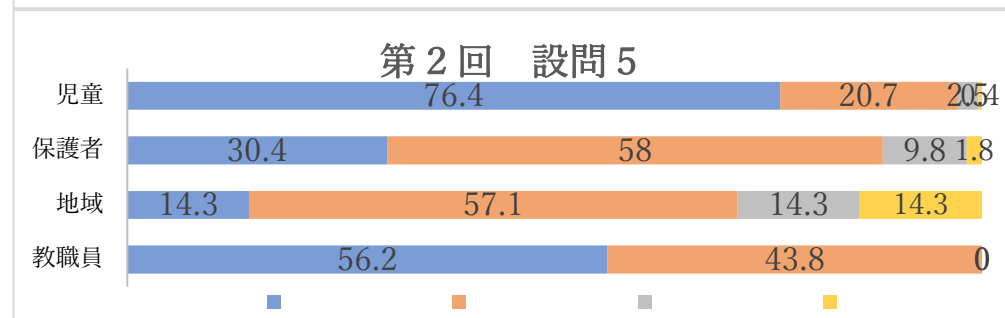
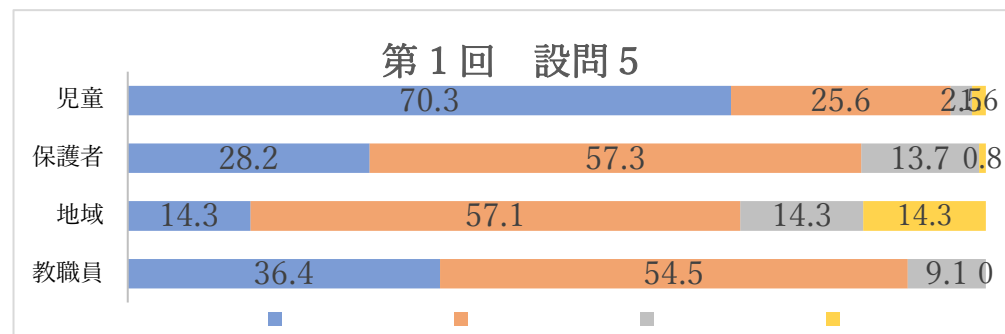
【設問 5】

児童 あなたは、交通安全に意識を向けて、ルールを守っている。

保護者 お子さんは、安全を意識した行動をしている。

地域 子どもは、地域の中で、安全を意識した行動をしている。

教職員 学校は、児童が安全を意識した行動ができるような取組をしている。



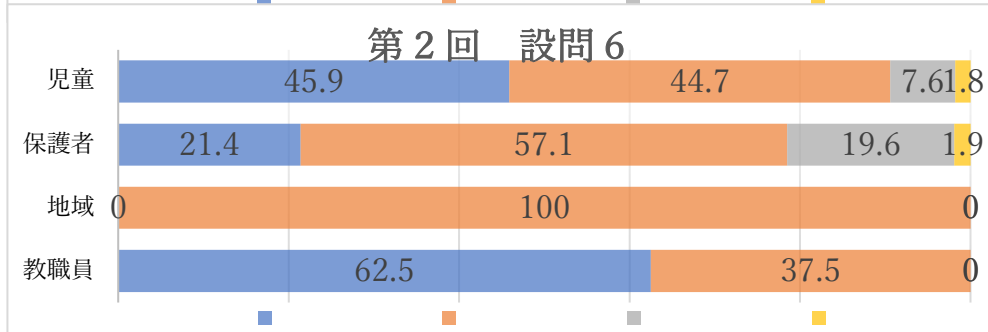
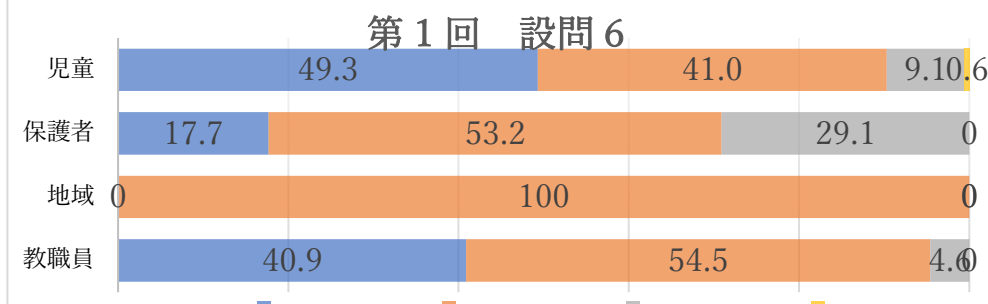
【設問 6】

児童 あなたは、自分からあいさつをしたり、相手の気持ちを考えたことばをつかったりしている。

保護者 お子さんは、よりよいあいさつや言葉づかいをしている。

地域 子どもは、地域の中で、よりよいあいさつや言葉づかいをしている。

教職員 学校は、児童がよりよいあいさつや言葉づかいができるような取組をしている。



〈こころプロジェクトについて〉

- ・【設問 5】では、全体的に肯定的な評価が増加している。評価のタイミングも難しいが、良いところを褒め、広げていけるよう声かけをしていけるとよい。地域での過ごし方については、課題が見られる点が多いため、継続して指導をしていく必要がある。
- ・【設問 6】でも、肯定的な評価が増え、あいさつに対しての意識の深まりが感じられる。さらに良くしていくためにも、学校だけでなく、地域の方からの声かけもしてもらい、全体で子どもたちを見守っていく組織づくりを広げていきたい。

4 すこやかプロジェクト

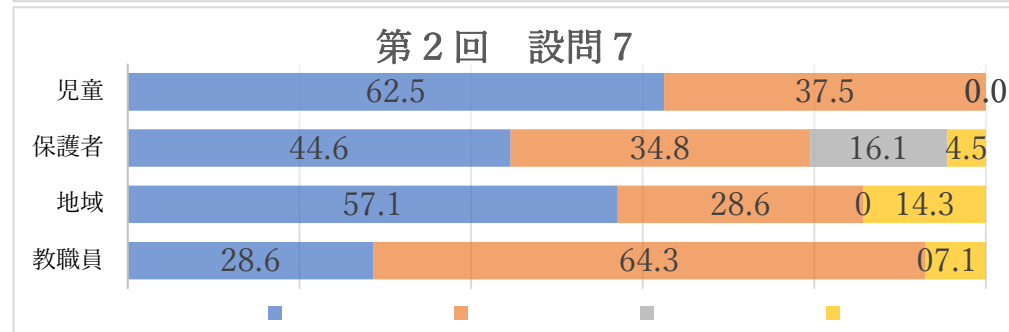
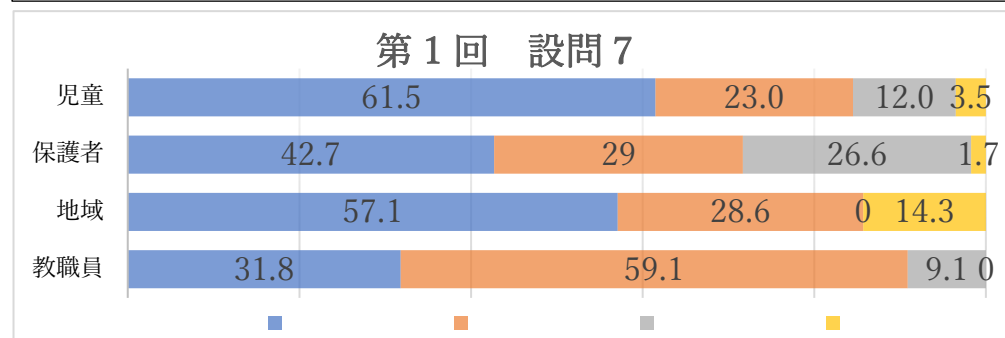
【設問 7】

児童 あなたは、進んで運動したり、体を動かして遊んだりしている。

保護者 お子さんは、進んで運動したり、体を動かして遊んだりしている。

地域 子どもは、進んで運動したり、体を動かして遊んだりしている。

教職員 学校は、児童が進んで運動したり、体を動かして遊んだりできるような機会を設けている。



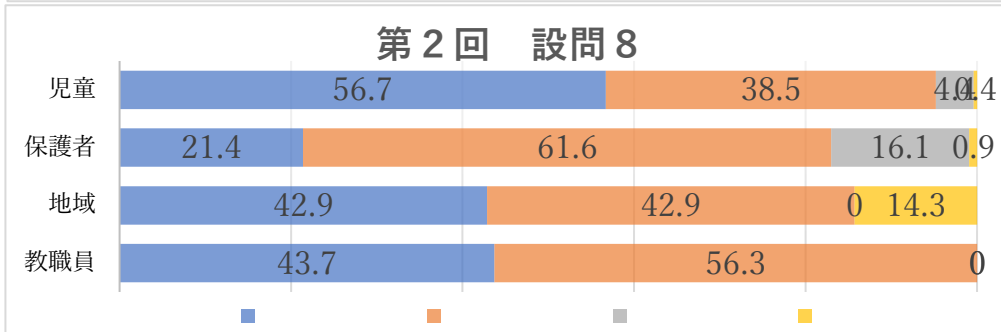
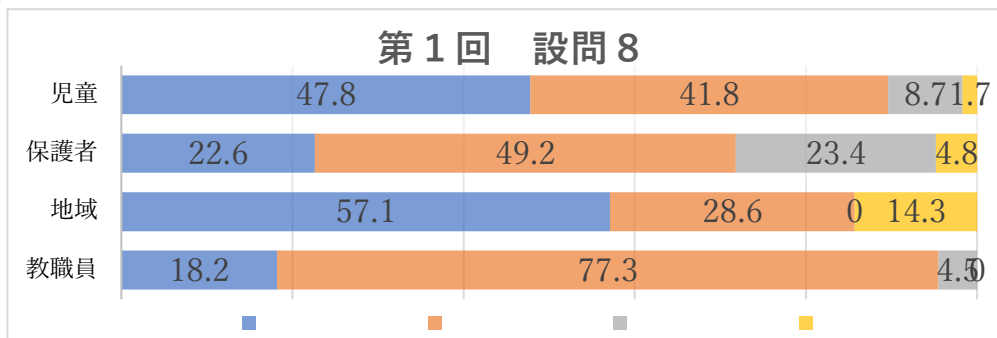
【設問 8】

児童 あなたは、毎日、歯をていねいにみがいている。

保護者 お子さんは、毎日ていねいに歯をみがいている。

地域 子どもは、よい姿勢を心がけている。

教職員 学校は、児童がていねいに歯をみがくように指導している。



〈すこやかプロジェクトについて〉

- ・【設問 7】では、肯定的な回答が増えた。体育倉庫の道具を使えるようにしたり、おうちで運動に取り組んだりした成果が表れた。今後はより楽しく運動するために、保健委員会が作成したダンス動画を活用して運動の機会を増やしたい。
- ・【設問 8】では、肯定的な回答が増えた。保健委員会が全校朝会で歯磨きの大切さを伝えたり、給食後に放送で歯磨きの歌を流したりして、意欲的に取り組めるような活動を行った。しかし、虫歯の治療率は低いため、治療の大切さや保護者への啓発を行い、今後も継続して指導したい。

5 地域連携

【設問 9】

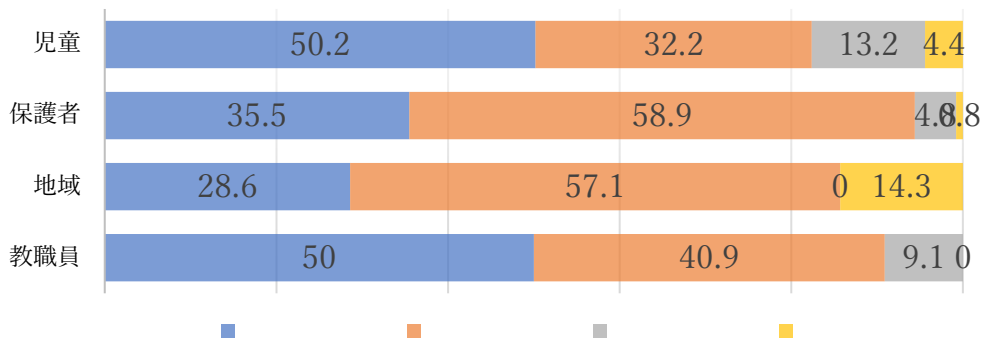
児童 あなたは、地域の方や保護者といっしょに学習するときに、進んで取り組んでいる。

保護者 学校は、保護者・地域と子どもがふれ合う取組を推進している。

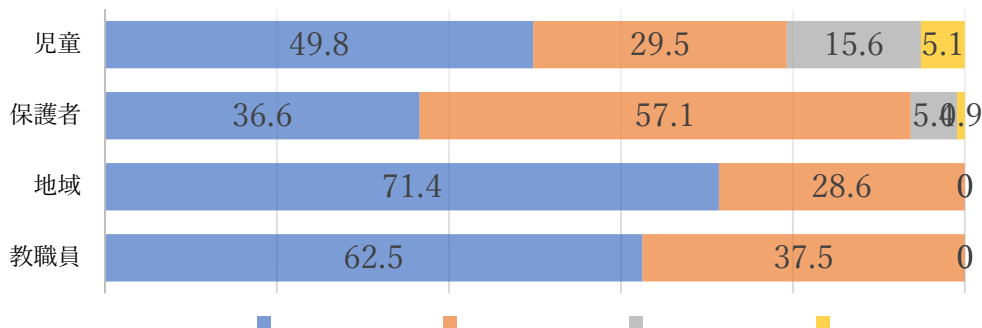
地域 学校は、家庭・地域・学校がともに子どもを育む体制づくりを推進している。

教職員 学校は、家庭・地域・学校がともに子どもを育む体制づくりを推進している。

第 1 回 設問 9



第 2 回 設問 9



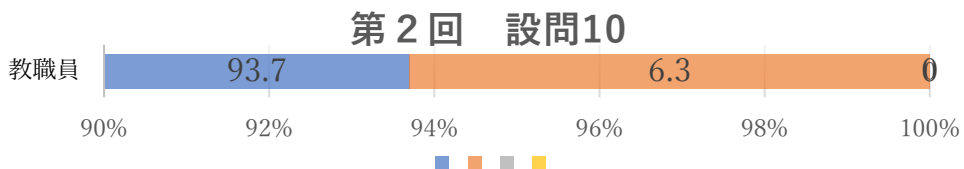
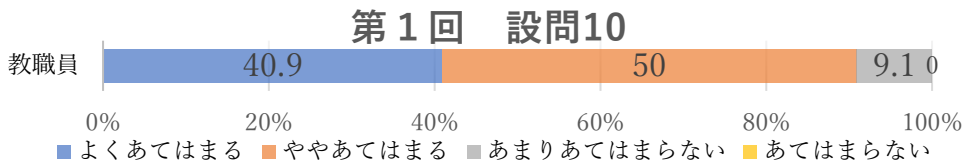
＜地域連携について＞

・第1回目と比べると、児童・保護者は横ばいであるが、地域・教職員においては、肯定的評価がかなり高くなっている。学校運営協議会委員を始め、中村公民館、青少年健全育成会議、民生児童委員、読み聞かせの会等の協力を得ることで、今年度も、たくさんの地域の方が児童の教育活動を支援してくださった。また、「学びボランティア」の登録や「中村小さくら連絡網」、Google フォームを使った保護者ボランティアの募集を通して、多くの保護者の協力も得ることができた。今後も、多様な人々とのふれあいにより、児童の自己肯定感や自己存在感、コミュニケーション能力を高めていきたい。また、児童が自ら課題をもち主体的に取り組む活動や地域に貢献する活動を意図的に仕組むことで、地域の担い手となる力を育てていきたい。さらには、地域人材マップの作成に取り組み、地域の方をゲストティーチャーとして呼び出し、様々な視点から中村地区や下松市のよさを教えていただき、「なかむら愛やくだまつ愛」の醸成を図っていきたい。

6 いじめの未然防止・早期発見

【設問10】

教職員 あなたは、いじめの未然防止・早期発見の取組をしている。



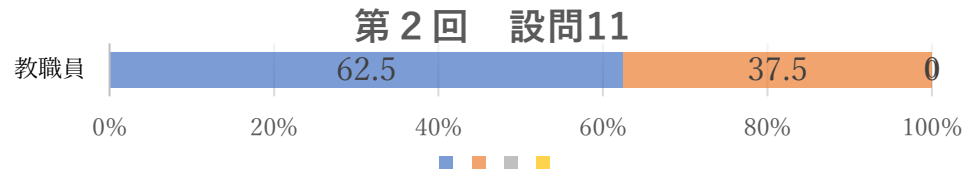
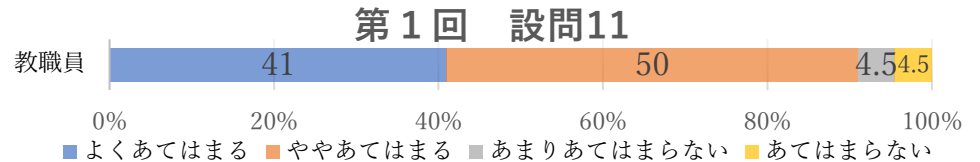
〈いじめの未然防止・早期発見について〉

・児童の不安や悩みを早期発見するために、週1回アンケートをとり、個別に教育相談を行ってきた。今後も、いじめの未然防止のために、児童が自己存在感・自己肯定感をもてるような教育活動の工夫や一人ひとりの居場所がある温かい学級経営に努めたい。また、アンケートに悩みを記入できない児童もいることが想定されるため、児童の様子をよく観察し、担任とともに、学年主任、生徒指導主任、教育相談担当等が連携し対応にあたりたい。また、教職員間で情報を共有し、組織として、安心して安全な学校づくりに努めていきたい。

7 働き方改革

【設問11】

教職員 あなたは、いじめの未然防止・早期発見の取組をしている。



〈働き方改革について〉

・第1回目と比べると、教職員の肯定的評価が高くなっている。教職員の勤務時間(8:10～16:40)への保護者のご理解・ご協力もあり、行事等の見直しや保護者への電話連絡をさくら連絡網で対応するなど、業務改善につながったと考えられる。引き続き、業務改善に努め、児童と向き合う時間や授業の準備にあてる時間を確保できるようにしたい。

・来年度も配布物に関しては、ペーパーレス化を進めていく予定であり、保護者のご理解・ご協力をお願いしたい。

